

第 22 回新潟リハビリテーション研究会

および日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会

日 時: 2019 年 10 月 5 日(土) 13:30~18:00

会 場: 新潟大学医学部有壬記念館

住 所: 新潟市中央区旭町通 1-757 電話: 025-227-2038・2039

プ ロ グ ラ ム

1. 新潟リハビリテーション研究会役員会 (13:30~14:30) 新潟大学医学部有壬記念館 1 階小会議室
2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会 (14:40~14:55) 同上 2 階大会議室
* 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

3. 一般演題 (15:00~15:40)

《座長》 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科・整形外科 助教 村上玲子

- 1) 「運転再開となった脳損傷患者へのアンケート調査」(15:00~15:10)
新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科 居城甫
- 2) 「生後 2 か月より上位胸髄損傷による完全対麻痺となった男児の一例」(15:10~15:20)
新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科 山田奨平
- 3) 「中越地区・地域連携診療計画加算データからみる当院の取り組み」(15:20~15:30)
医療法人立川メディカルセンター悠遊健康村病院 病院長 立川浩
- 4) 「地域一般病院におけるリハビリテーション科医の業務内容について」(15:30~15:40)
南魚沼市民病院 副院長 大西康史

— 休 憩 20 分 —

4. 関東地方会生涯教育研修会 I (16:00~17:00)

「新しいリハビリテーションの地域連携時代 —ICU から在宅までの対応—」

《講師》 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 院長 影近謙治

《座長》 下越病院 リハビリテーション科 科長 張替徹

リハビリテーションを実施する上で、患者家族のニーズを優先することは言うまでもない。しかしその実施が困難なケースもあり妥協してしまう場合もある。地域におけるリハサービスはそれぞれ地域により特性をもって対応しているが、リハチームとして急性期から終末期にいたる連携は大切なことであり、単に情報の連絡に終わるのではなく協働しフィードバックできる連携を実践することが重要である。そうした現状の中でのわれわれの取り組みをご紹介します。

5. 関東地方会生涯教育研修会 II (17:00~18:00)

「重篤患者に必要とされる急性期リハビリテーション医療」

《講師》 横浜市立大学医学部 リハビリテーション科学教室 主任教授 中村健

《座長》 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科 病院教授 木村慎二

近年、急性期リハビリテーション医療が重要であることは広く認識されている。特に重篤患者に対しては、急性期リハビリテーション治療が重要であり、早期離床と運動負荷がその中心となる。しかし、重篤患者に対し早期離床と運動負荷を行うにはリスクがあり厳密な医学管理が重要となる。そこで、重篤患者に対する急性期リハビリテーション医療を実践するために必要な早期離床と運動負荷、さらにリスク管理について我々の経験を含め述べる。

- 日本リハビリテーション医学会専門医（日本専門医機構認定）：1 講演 1 単位 1,000 円、認定臨床医：1 講演 10 単位（日本リハ学会認定）
- 日本整形外科学会専門医資格継続単位：各 1 単位
教育研修講演 I、II：[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）1 単位
- 参加費 医師 1,000 円、メディカルスタッフ 500 円
- 当日は職員駐車場を開放いたしますのでお車の方は西門からお入り下さい。
- 新潟リハビリテーション研究会会員は令和元年度の会費納入(8,000 円)も受け付けいたします。
- 当日は、ご参加いただいた確認のため御芳名の記帳をお願いいたします。

《主催》 新潟リハビリテーション研究会